

EDIUS 3D 編集機能 簡易マニュアル

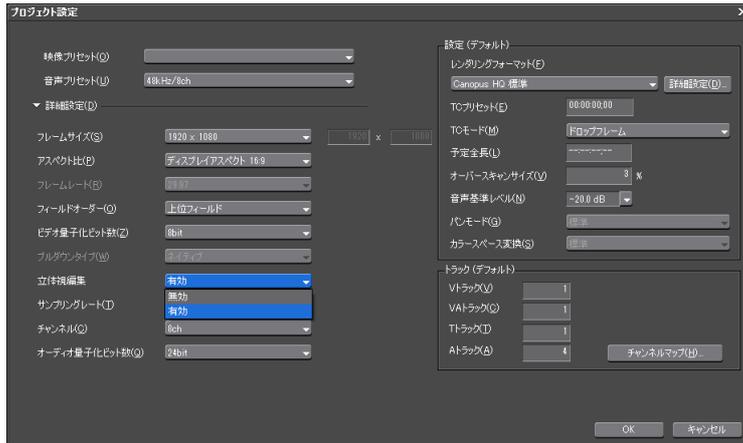
本マニュアルは、EDIUS のベータ版機能である 3D 編集機能についてのみ記載した簡易マニュアルです。

3D 編集を行うための準備

EDIUS を起動し、プロジェクト設定の[立体視編集]を[有効]に設定します。

[プロジェクトの新規作成]を選択し、[プロジェクト設定]の[プリセットを変更して使用する]にチェックを付けてからプリセットを選択して[プロジェクト設定]を開きます。

もしくは、EDIUS 起動後にメニューバーの[設定]から[プロジェクト設定]を選択し、[現在の設定を変更]を選択して[プロジェクト設定]を開きます。



次回以降も同じ設定のプロジェクトで編集を行う場合は、プリセットを作成しておく便利です。EDIUS 起動後、メニューバーの[設定]から[システム設定]を選択します。

[アプリケーション]のツリーから[プロジェクトプリセット]を選択し、[新規プリセット]をクリックしてプリセットの登録を行います。3D 編集のプリセットを作成する場合は、詳細設定の[立体視編集]を[有効]に設定してください。

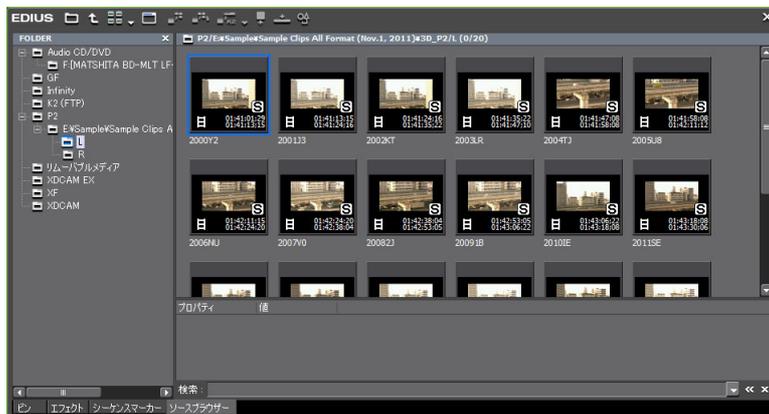
現在編集しているプロジェクト設定をプリセット登録する場合、[プリセット呼び出し]を選択し、現在の設定を呼び出してから登録すると便利です。

編集するクリップを選択します。

リムーバブルメディアタイプのクリップはソースブラウザーから、ファイルタイプのクリップはピンから読み出します。EDIUS で編集可能な立体視対応クリップは、3DA1 (Panasonic)、MVC (Sony, Panasonic, JVC)、3D P2 (Panasonic)、3D コンバージョンレンズ等で撮影された 3D クリップとなります。

3DA1 stereo 3D のクリップの場合、SD カードを 2 枚メモリーカードスロットに装着すると、2 枚の SD カードのフォルダとは別に立体視フォルダが追加されます。

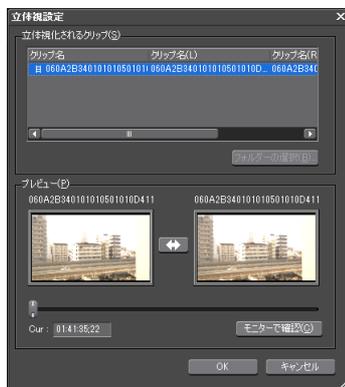
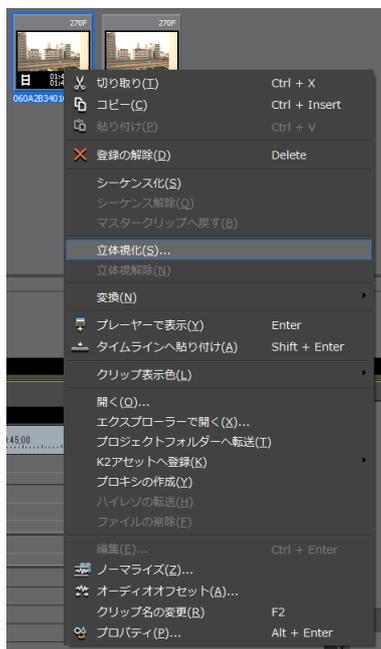
L (左) と R (右) のクリップが別々になっている場合、立体視化を行います。立体視化の手順は、「L/R が個別になっているクリップを立体視化する」を参照してください。



L/Rが個別になっているクリップを立体視化する

L(左)とR(右)が別々になっているクリップを立体視化する場合、立体視化したいクリップを2つ選択し、右クリックで表示されるメニューから[立体視化]を選択します。

[立体視設定]が開きます。立体視化を解除する場合は、[立体視解除]を選択します。



立体視設定

LとRのクリップの入れ替えや同期方法等の設定を行うことができます。

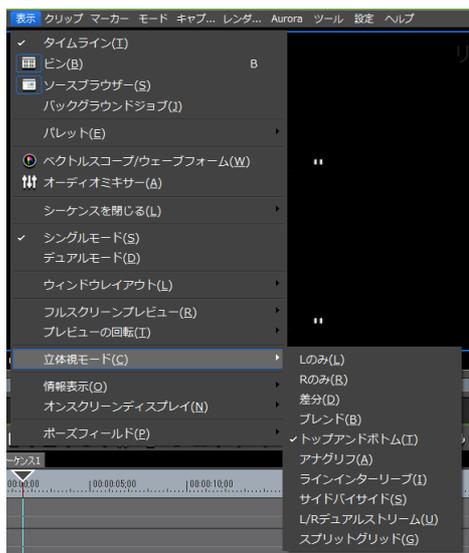


プロパティ

1本化された3Dクリップでクリップの種類が判別できない場合、ピンのクリップ上で右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選択し、[立体視情報]タブで分離形式の選択を行うことができます。

プレビューウィンドウの立体視モードを変更する

プレビューウィンドウの立体視モードを変更する場合、メニューバーから[表示]を選択し、[立体視モード]を選択して3Dのプレビューモードを設定します。



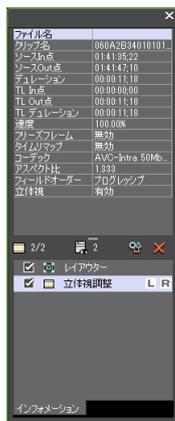
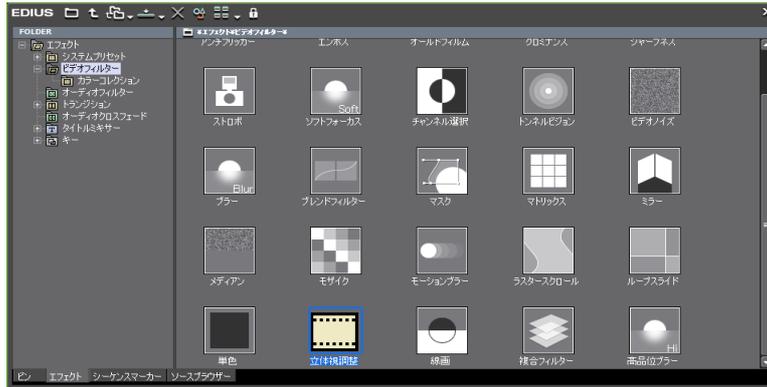
NVIDIA 3D VISIONに対応したシステムの場合、[L/Rデュアルストリーム]を利用することができます。

- ・メニューバーの[設定]から[ユーザー設定]を選択し、[プレビュー]ツリーの[フルスクリーンプレビュー]で、NVIDIA 3D VISIONに関する設定を行うことができます。
- ・D 3D 全画面モードでのみ使用可能です。
- ・3D VISIONが適用されるのはプライマリモニタのみです。

ビデオフィルターを適用する

ビデオフィルターを適用することができます。

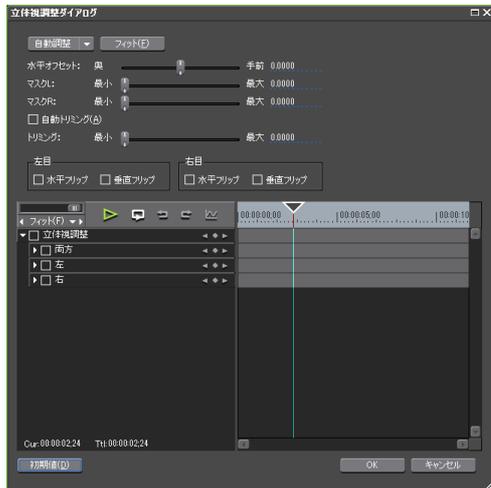
ここでは、[立体視調整] を選択しています。



エフェクトの適用は、**L R** スイッチによりLのみ、Rのみ、L/R両方に切り替えることができます。

[インフォメーション] タブの [立体視調整] をダブルクリックし、設定を行います。

[立体視調整ダイアログ] が開きます。L と R クリップのずれ等の調整に使用します。



自動調整

自動調整を行う基準を選択します。[自動調整]は、[左目を基準に調整]と[右目を基準に調整]の中間の設定になります。

上下左右傾きのずれが大きい場合、自動調整+フィット(上下左右傾きの自動調整とフィット)と水平オフセット(奥行き調整)の組み合わせが便利です。

フィット

映像を調整した時に黒枠が消えるトリミング値を自動的に設定します。

水平オフセット

左目と右目の画像の水平方向の配置を調整します。

マスク L/R

映像の左端(L)、右端(R)を黒でマスクします。

自動トリミング

映像を調整した時に黒枠が消えるように自動的に倍率を調整します。チェックを付けるとトリミングとフィットの設定が無効化されます。

水平フリップ

反転したカメラの画像をフリップします。

垂直フリップ

ミラーリングや反転したカメラの画像をフリップします。

